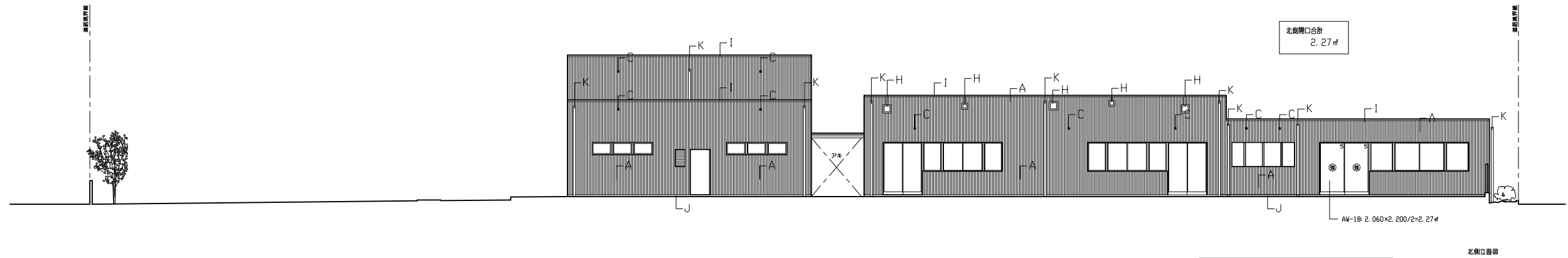
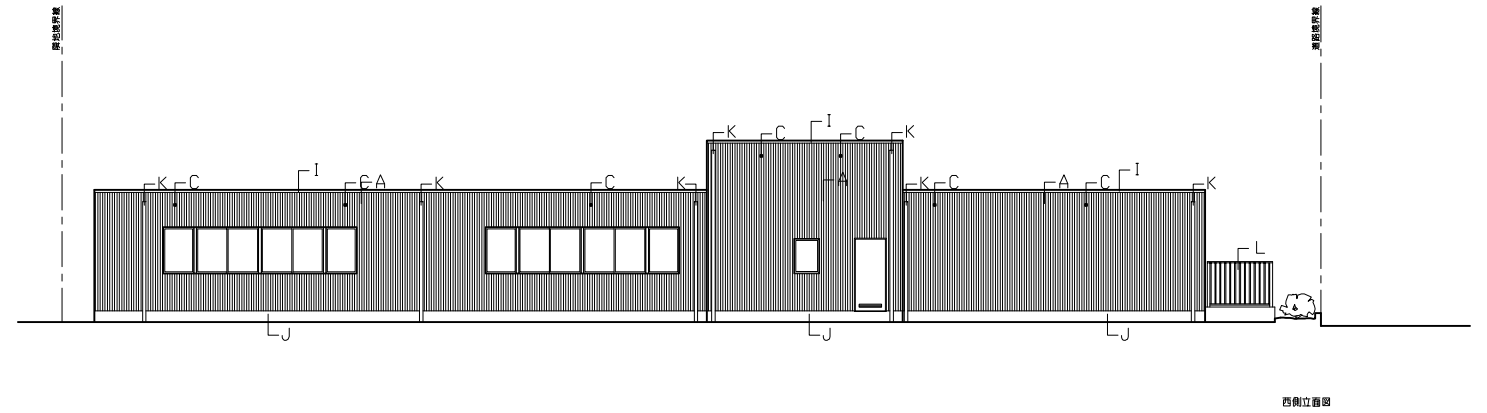
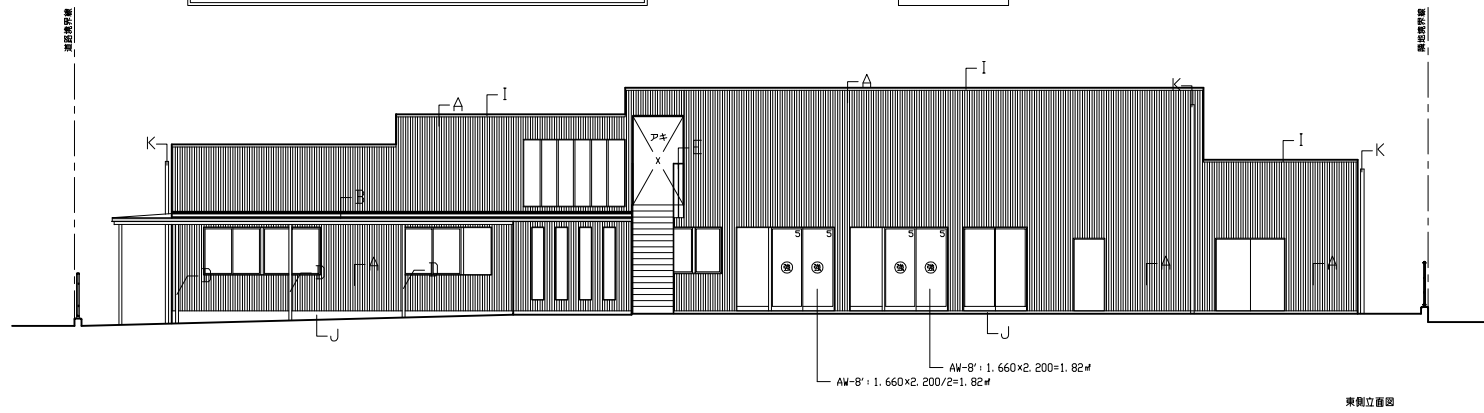


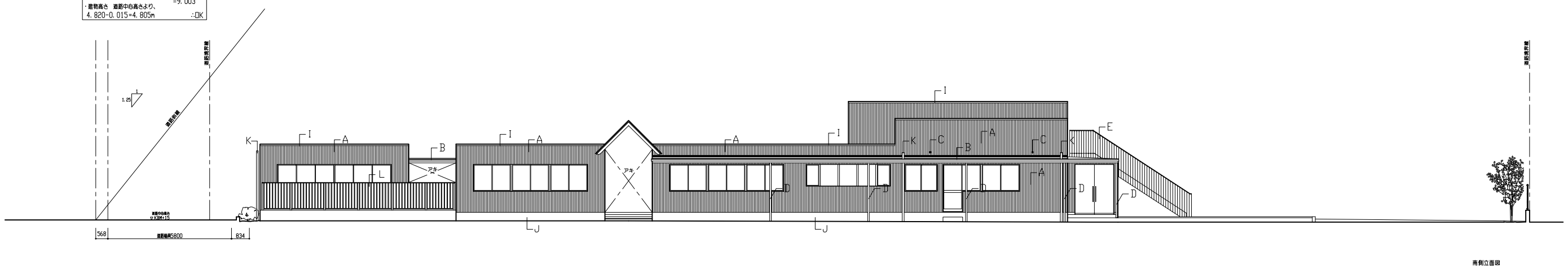
■消防法施行令10条1項五号による無窓階の算定  
 843.89㎡(1階床面積)/30=28.13㎡(必要開口面積)  
 開口面積合計  
 $13.02 + 3.64 + 15.46 + 2.27 = 34.39 \geq 28.13 \text{㎡} \text{ -OK}$

西側開口合計  
 3.64㎡

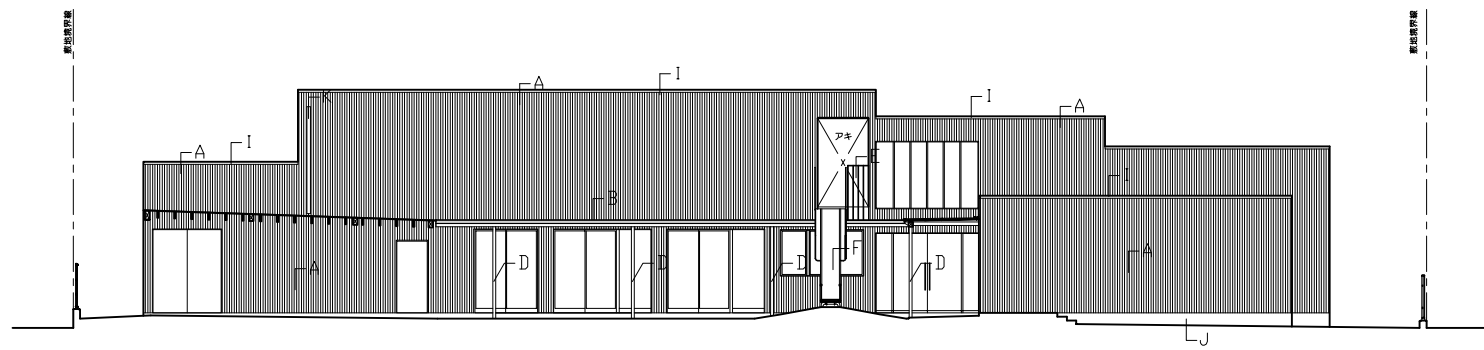


口蓋距離 検針位置 原則  
 ・検針距離 0.568m  
 ・検針幅員 5.800m  
 ・高さの算定 (0.834+5.800+0.568) x 1.25  
 =9.003  
 ・建物高さ 道路中心高さより、  
 4.820-0.015=4.805m  
 :OK

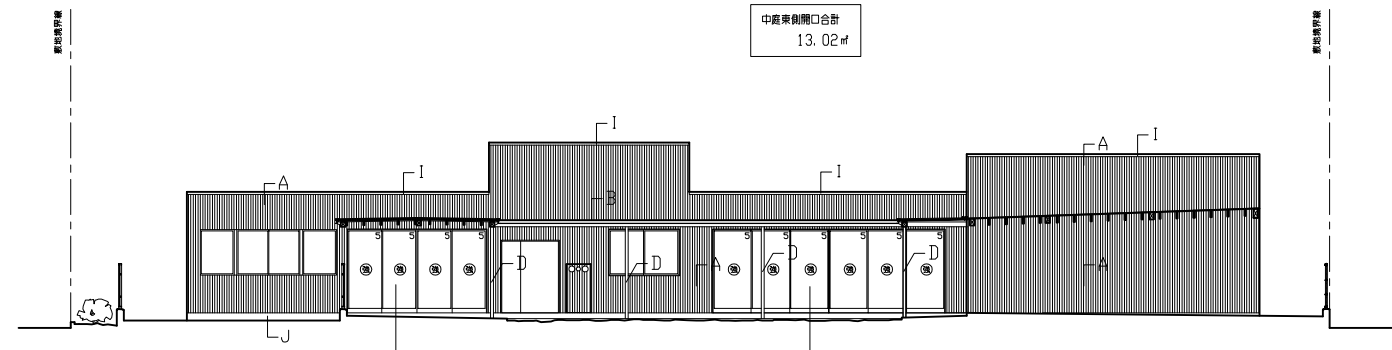
■消防法施行令10条1項五号による無窓階の算定(1)  
 有効開口部 W=2.060/2=1.030、H=2.200  
 $\geq W=0.750、H=1.200 \text{ -OK}$



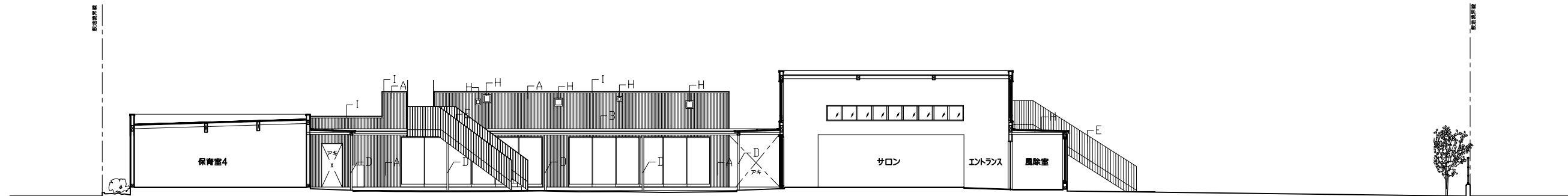
■凡例		■開口部ガラス凡例	
A	スリッドレール張くポリエステル樹脂塗装ガルバリウム鋼板	C	オーバーフロー管 SUS角パイプ50
B	軒先:L=50×50×6 樹脂塗装メッキの上、ポリウレタン樹脂塗装	D	鉄骨柱76.3φ 樹脂塗装メッキ処理
E	手摺 丸パイプ 樹脂塗装メッキ処理	F	滑り台(詳細図参照)
I	空木 アルミ製(既製品)	H	のぞき穴(アキ) 200×200 100×100
K	堅橋 硬質カラー塩ビ管(VP) 75φ	J	外巾木 コンクリート打放し精修
L	木製フェンス H=1150		



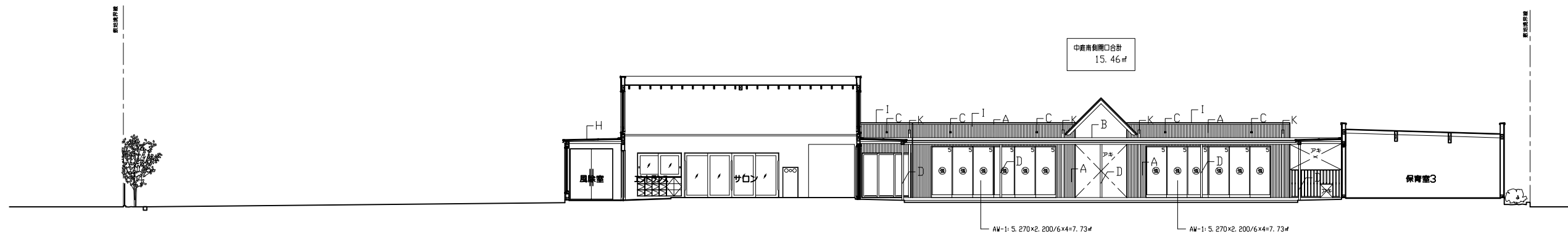
中庭東側立面図



中庭西側立面図



中庭北側立面図



中庭南側立面図

■別記法施行令[0条]第五号による無窓層の算定(2)  
 有効開口部 W=5.270/6×4=3.513、H=2.200  
 ≧ W=0.750、H=1.200 -DK

■凡例		■開口部ガラス凡例	
A	スリッドレール張くポリエステル樹脂塗装ガルバリウム鋼板	C	オーバーフロー管 SUS角パイプ50
B	軒先:L-50×50×6 樹脂塗装メッキの上、ポリウレタン樹脂塗装	D	鉄骨柱76、3φ 樹脂塗装メッキ処理
		E	手すり 丸パイプ 樹脂塗装メッキ処理
		F	滑り止め(詳細図参照)
		H	のぞき穴(アキ) 200×200 100×100
		I	空木 アルミ製(既製品)
		J	外巾木 コンクリート打放し補修
		K	堅橋 硬質カラー電圧管(VP) 75φ
		L	木製フェンス H=1150